

令和7年度

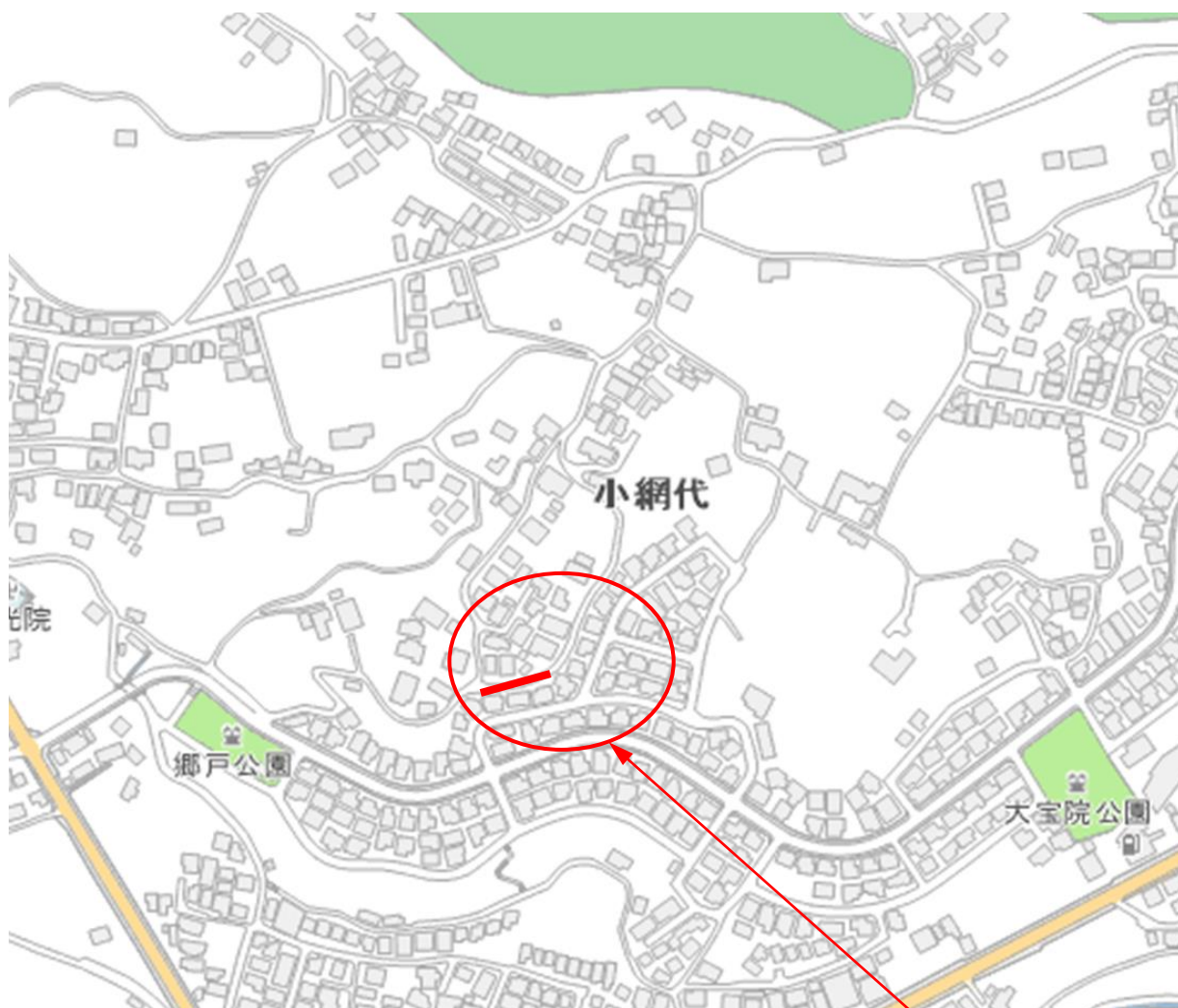
市道681号道路修繕工事

工 事 設 計 書

三浦市役所

都市環境部 土木課

位置図



施工箇所

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)	
設 計 書 番 号	年度 07
事 業 所 名	三浦市
(工 事 ・ 業 務) 名	令和7年度 市道681号道路修繕工事
(工 事 ・ 業 務) 箇所	三浦市三崎町小網代地内
(河川・路線・区域)名	市道681号
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	工事延長 L=44m U型側溝工 L=44m 現場打ち側溝蓋工 L=1m 路盤工 A=130㎡ アスファルト舗装工 A=131㎡
(起 工 ・ 変 更) 理由	

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)						
<支出科目>						
款	7					
項	2					
目	2					
目の細目						
節	14					
<合併区分情報>						
合併処理設定	しない					
	区 分 1					
	区 分 2					
	区 分 3					
	区 分 4					
	区 分 5					
	区 分 6					
	区 分 7					
	区 分 8					
	区 分 9					
<全体金額情報>						
	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 07 年度 積 算 諸 条 件 調 書 (当初)

経費等情報	主たる工種		道路維持工事		
	施工地域・工事場所区分		市街地DID補正(1)－1, 2		
	現場環境改善費計上区分		計上しない		
	緊急工事による補正		補正しない		
	前払金支出割合		35%を超える場合		
	契約保証の方法		金銭的保証		
	間接工事費率補正（上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合）				
	共通仮設費率補正		0.00%		
	現場管理費率補正		0.00%		
	一般管理費率補正		0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分		計上しない		
	土木工事標準積算基準書 適用年版		令和07年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版		令和7年7月1日基準		
	週休割増補正区分		月単位<現場閉所>		
	ICT施工補正区分		補正しない		
積算数量等情報	名称		採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員B		29	人日	昼間・交代要員無
	ポンプ運転		4	日	

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
道路維持				式			
			1				
道路修繕				式			
			1				
準備工				式			第 0001 号 内訳書
			1				
土工				式			第 0002 号 内訳書
			1				
舗装工				式			第 0003 号 内訳書
			1				
排水工				式			第 0004 号 内訳書
			1				
仮設工				式			第 0005 号 内訳書
			1				
直接工事費計				式			
			1				
共通仮設費計				式			
			1				
共通仮設費（率分）				式			【千円止】
			1				
純工事費				式			
			1				
現場管理費				式			【千円止】
			1				

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工事原価							
			1	式			
一般管理費等							
			1	式			
工事価格							
			1	式			【万円止】
消費税及び地方消費税相当額							
			1	式			10.00%
本工事費計							
			1	式			

第0001号 内訳書
準備工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA1010) 準備工		式			第0001号下内
	1				
合 計					

第0002号 内訳書
土工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA1020) 土工		式			第0002号下内
	1				
合 計					

第0003号 内訳書
舗装工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA1030) 舗装工		式			第0003号下内
	1				
合 計					

第0004号 内訳書
排水工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA1040) 排水工		式			第0004号下内
	1				
合 計					

第0005号 内訳書
仮設工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA1050) 仮設工		式			第0005号下内
	1				
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA1010 準備工

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB430510) 舗装版切断		m			第0001号単価表
	46				
(CB210720) 舗装版破碎積込(小規模土工)		m2			第0002号単価表
	131				
(WB824010) 構造物とりこわし		m3			第0003号単価表
	0.5				
(CB227010) 殻運搬		m3			第0004号単価表
	6				
(CB227010) 殻運搬		m3			第0004号単価表
	0.5				
(Z132597000) 廃材処理料(東部地区) A S 殻		m3			
	6				
(Z132597010) 廃材処理料(東部地区) 無筋C o 殻		m3			
	0.5				
合 計					
		式			円/式
	1				

第0002号 下位内訳書
AMA1020 土工

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ1010) 床掘り		m3			第0005号単価表
	26				
(SJ1010) 床掘り		m3			第0005号単価表
	11				
(SJ1030) 埋戻し		m3			第0007号単価表
	3				
(CB210110) 土砂等運搬		m3			第0009号単価表
	26				
(CB210110) 土砂等運搬		m3			第0010号単価表
	7				
(Z132597040) 廃材処理料（東部地区） 路盤材（上層・下層）		m3			
	26				
(TJ1010) 建設発生処分料 確認処分		m3			
	7				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0003号 下位内訳書
AMA1030 舗装工

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB410041) 上層路盤(歩道部)		m2			第0011号単価表
	130				
(CB410260) 表層(車道・路肩部)		m2			第0012号単価表
	131				
(CB410010) 不陸整正		m2			第0013号単価表
	0.5				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0004号 下位内訳書
AMA1040 排水工

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821410) U型側溝		m			第0014号単価表
	42				
(WB821410) U型側溝		m			第0015号単価表
	2				
(SJ1050) 現場打ち側溝蓋工		m			第0016号単価表
	1				
(WB821430) 蓋版		枚			第0020号単価表
	68				
(WB821430) 蓋版		枚			第0021号単価表
	4				
(CB240010) コンクリート		m3			第0022号単価表
	4				
(CB222770) 暗渠排水管		m			第0023号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0005号 下位内訳書
AMA1050 仮設工

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB252320) ポンプ 設置・撤去		箇所			第0024号単価表
	1				
(WB252310) ポンプ 運転		日			第0026号単価表
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第0029号単価表
合 計					
		式			円／式
	1				

第0001号 単価表 機労材構成比情報
CB430510 舗装版切断

1 m 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)]			【損料】		M001161013
湿式 切削深20cm級 プレート径 φ 56cm	M001161013				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
普通作業員					R0102
	R0102				
コンクリートカッタ (プレート)					Z006540009
径18インチ	Z006540009				
カッソリン					Z006704001
レギュラー	Z006704001				
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 舗装版種別	1		アスファルト舗装版		
J02 アスファルト舗装版厚	1		15cm以下		
J05 費用の内訳	1		全ての費用		

1	m2	当り
	適用年版	T0707

第0003号 単価表 1 m3 当り
WB824010 構造物とりこわし 適用年版 T0707

三浦市

第0004号 単価表 機労材構成比情報
CB227010 殻運搬

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級			【損料】		M000301001
	MP03010010				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 殻発生作業	3	舗装版破碎			
J02 積込工法区分	4	機械積込(小規模土工)			
J03 DID区間の有無	2	有り			
J10 運搬距離(km) (DID区間有)	11	11.0km以下			
J13 費用の内訳	1	全ての費用			

第0005号 単価表
SJ1010 床掘り

10 m3 当り
適用年版 T0707
(上段: 前 回 下段: 今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0102) 普通作業員					
	0.3	人			
(SJ1020) バックホウ運転					第0006号単価表
	0.77	日			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	m3			整数止め切捨て 円/m3

第0006号 単価表
SJ1020 バックホウ運転

1 日 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			
	1				
(Z006702002) 軽油		L			
	22				
(M000201034) 小型バックホウ(クローラ) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3		供用日	【損料】		
	1.39				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		日			整数止め切捨て 円／日
	1				

第0007号 単価表
SJ1030 埋戻し

10 m3 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0102) 普通作業員		人			
	0.7				
(SJ1020) バックホウ運転		日			第0006号単価表
	0.62				
(SJ1040) タンパ運転		日			第0008号単価表
	0.27				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		m3			整数止め切捨て 円／m3
	1				

第0008号 単価表
SJ1040 タンパ運転

1 日 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0101) 特殊作業員		人			
	1				
(Z006704001) カ°ソリン レキ°ユラー		L			
	5				
(L001180001) タンパ°及びドラム 質量 60～80kg		日	【賃料】		
	1.61				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		日			整数止め切捨て 円／日
	1				

第0009号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級			【損料】		M000301001
	MP03010010				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 土砂等発生現場	入 力 値		条 件 値		
J02 積込機種・規格	2		小規模		
J03 土質	6		バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3)		
J04 DID区間の有無	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J16 運搬距離(km)(DID区間有)	2		有り		
	11		11.0km以下		

第0010号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格		東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]				【損料】		M000301001
	2t積級	MP03010010				
運転手(一般)						R0115
		R0115				
軽油						Z006702002
		Z006702002				
標準単価			積算単価			
		1 m3		当り		
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値		
J01 土砂等発生現場		2		小規模		
J02 積込機種・規格		6		バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3)		
J03 土質		1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無		2		有り		
J16 運搬距離(km)(DID区間有)		3		1.5km以下		

第0011号 単価表 機労材構成比情報
CB410041 上層路盤(歩道部)

1 m2 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
小型バックホ(クロー型)[後方超小旋回型]			【損料】		M000201100
超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	M000201100				
振動ロー(舗装用)[搭乗・コンパクト式]			【賃料】		L001070011
運転質量3～4t	L001070011				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
特殊作業員					R0101
	R0101				
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
再生粒度調整碎石					Z002125003
RM-40	ZP21250021				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条 件 名 称					
J01 全仕上り厚(実数入力)	200		200 mm		
J02 施工区分	2		2層施工		
J03 材料	3		再生粒度調整碎石 RM-40		
J04 費用の内訳	1		全ての費用		

第0012号 単価表 機労材構成比情報
CB410260 表層(車道・路肩部)

1 m2 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
アスファルトフィニッシュ			【賃料】		L001210001
[ホイール型]舗装幅1.4～3.0m	L001210001				
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド式]			【賃料】		L001070011
運転質量3～4t	L001070011				
タイヤローラ[普通型]			【賃料】		L001060001
運転質量3～4t	L001060001				
普通作業員					R0102
	R0102				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
アスファルト混合物					Y001102000 -00001
再生密粒度アスコン(13)	ZP41000030				
アスファルト乳剤					Z004130002
PK-3 プライムコート用	Z004130002				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 平均幅員	3		1.4m以上3.0m以下		
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下			mm		
J03 1層当平均仕上厚 50mm超70mm以下			mm		
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50		50 mm		

第0012号 単価表 機労材構成比情報
CB410260 表層(車道・路肩部)

1 m2 当り
適用年版 T0707

J05 材料	35	各種(2.30以上2.40t/m3未満)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第0013号 単価表 機労材構成比情報
CB410010 不陸整正

1 m2 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
モータクレータ〔土工用〕			【損料】		M000701021
排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	M000701021				
ロートローラ〔マカダム〕			【賃料】		L001050002
運転質量10～12t	L001050002				
タイヤローラ〔普通型〕			【賃料】		L001060004
運転質量13～14t	L001060004				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
再生粒度調整砕石					Z002125003
RM-40	Z002122003				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2		当り		
条 件 名 称					
J01 補足材料の有無	入 力 値		条 件 値		
J02 補足材料平均厚さ	2		有り		
J03 補足材料	6		28mm以上34mm未満		
J04 費用の内訳	9		再生粒度調整砕石 RM-40		
	1		全ての費用		

第0014号 単価表
WB821410 U型側溝

10 m 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001365002) U型側溝 昼間 L600 300kg以下 制約無	10	m			[1]
(Q001365002) U型側溝 昼間 L600 300kg以下 制約無	10	m			[1]
(Z002122003) 再生クラッシャーラン RC-40	0.672	m3			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	m			円／m
条 件 名 称					
J01 作業区分	3	条 件 値			
J02 L=1000・L=4000の使用の有無	1	再利用撤去・据付け			
J03 夜間作業の有無	1	無し			
J04 U型側溝の種類	4	無し			
J06 U型側溝の規格・仕様	1	側溝(各種)			
J07 U型側溝の質量	2	L=600mm			
J08 時間的制約の有無	1	60を超え300kg/個以下			
J09 施工箇所における補正	1	無し			
J10 基礎碎石施工の有無	1	無し			
J11 基礎碎石の種類	5	有り			
J12 基礎碎石設計数量(実数入力)	0.56	再生クラッシャーラン 40～0			
		0.56 m3/10m			

第0015号 単価表
WB821410 U型側溝

10 m 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001365003) U型側溝 昼間 L2000 1000kg以下 制約無	10	m			[1]
(Z002308010) -00006 道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 300A 300×300×2000	5	本			[1]
(Z002122003) 再生クラッシャーラン RC-40	0.672	m3			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	m			円／m
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 作業区分	1		据付け		
J02 L=1000・L=4000の使用の有無	1		無し		
J03 夜間作業の有無	1		無し		
J04 U型側溝の種類	3		道路用鉄筋Co側溝3種 JIS A 5372		
J05 U型側溝の規格	18		300A 300×300×2000		
J08 時間的制約の有無	1		無し		
J09 施工箇所における補正	1		無し		
J10 基礎碎石施工の有無	1		有り		
J11 基礎碎石の種類	5		再生クラッシャーラン 40～0		
J12 基礎碎石設計数量(実数入力)	0.56		0.56 m3/10m		

第0016号 単価表
SJ1050 現場打ち側溝蓋工

3 m 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB240010) コンクリート		m ³			第0017号単価表
	0.11				
(WB810010) 鉄筋工[市場単価]		t			第0018号単価表
	0.014				
(SJ1060) 埋設型枠(現場打ち側溝蓋用)設置		m ²			第0019号単価表
	1.17				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		m			整数止め切捨て 円／m
	1				

第0017号 単価表 機労材構成比情報
CB240010 コンクリート

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構成比	地 区 単 価	明細情報	摘 要
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
特殊作業員					R0101
	R0101				
生コンクリート(高炉) 18-8-20BB(W/C指定無)					Y000210000 -00003
三浦半島割増+小型車割増	Z002012005				
標準単価		積算単価			
		1 m3			
				円／m3	
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 構造物種別	2		小型構造物		
J02 打設工法	4		人力打設		
J03 コンクリート規格	46		各種		
J05 養生工の種類	2		一般養生		
J07 現場内小運搬の有無	2		無し		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0018号 単価表
WB810010 鉄筋工[市場単価]

1 t 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z001102008) 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	1.03	t			[1]
(Q001001002) 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	1	t			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	t			円/t
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄筋材料規格・径	1		SD295 D10		
J02 規格・仕様区分	1		一般構造物		
J03 施工規模	2		10t未満		
J04 時間的制約を受ける場合の補正	2		無		
J05 夜間作業補正	2		無		
J06 トンネル内作業の補正	2		無		
J07 法面作業の補正	2		無		
J08 太径鉄筋補正	1		補正無(鉄筋割合10%未満含む)		
J09 構造物種別による補正	1		補正無(一般構造物)		

第0019号 単価表
SJ1060 埋設型枠(現場打ち側溝蓋用)設置

100 m2 当り
適用年版 T0707
(上段:前 回 下段:今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0102) 普通作業員					
	0.7	人			
(TJ1020) 側溝用埋設型枠 6×390×1000					
	105	m2			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0020号 単価表
WB821430 蓋版

100 枚 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001367002) 蓋版コンクリート・鋼製 昼間 170kg以下 制約無					[1]
	100	枚			
(Q001367002) 蓋版コンクリート・鋼製 昼間 170kg以下 制約無					[1]
	100	枚			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]					
	1	式			
合 計					
	1	枚			円/枚
条 件 名 称					
		入 力 値	条 件 値		
J01 作業区分		3	再利用撤去・据付け		
J02 夜間作業の有無		1	無し		
J03 蓋版の種類		2	鉄筋コンクリートU型 2種 JIS A 5372		
J04 蓋版の規格		7	300 40×10×60		
J06 時間的制約の有無		1	無し		
J07 施工箇所における補正		1	無し		

第0021号 単価表
WB821430 蓋版

100 枚 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001367002) 蓋版コンクリート・鋼製 昼間 170kg以下 制約無		枚			[1]
	100				
(Z002324006) -00007 道路用側溝蓋 3種 300 41.2×9.5×50		枚			[1]
	100				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		枚			円/枚
	1				
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 作業区分		1		据付け	
J02 夜間作業の有無		1		無し	
J03 蓋版の種類		4		道路用鉄筋Co側溝3種 JIS A 5372	
J04 蓋版の規格		16		300 41.2×9.5×50	
J06 時間的制約の有無		1		無し	
J07 施工箇所における補正		1		無し	

第0022号 単価表 機労材構成比情報
CB240010 コンクリート

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構成比	地 区 単 価	明細情報	摘 要
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
特殊作業員					R0101
	R0101				
生コンクリート(高炉) 24-12-20BB(W/C指定無)					Y000210000 -00002
三浦半島割増+小型車割増	Z002012005				
標準単価		積算単価			
		1 m3			
				円／m3	
条 件 名 称					
J01 構造物種別	入 力 値		条 件 値		
J01 構造物種別	2		小型構造物		
J02 打設工法	4		人力打設		
J03 コンクリート規格	46		各種		
J05 養生工の種類	2		一般養生		
J07 現場内小運搬の有無	2		無し		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0023号 単価表 機労材構成比情報
CB222770 暗渠排水管

1 m 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構成比	地 区 単 価	明細情報	摘 要
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
標準単価		積算単価			
		1 m 当り			円／m
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 作業区分		2	撤去		
J02 管種別		1	直管		
J03 呼び径		2	200～400mm		

第0024号 単価表
WB252320 ポンプ設置・撤去

1 箇所 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(WK250540) パッキン運転		日			第0025号単価表 [1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		箇所			円/箇所
	1				

第0025号 単価表
WK250540 バックホウ運転

1 日 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(L001010004) バックホウ(クロー) [標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日	【賃料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	日			円／日

第0026号 単価表
WB252310 ポンプ運転

1 日 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(WK250400) 工事用水中ポンプ 運転		日			第0027号単価表 [1]
(WK250410) 発動発電機運転		日			第0028号単価表 [1]
(ZS8000004) 諸雑費 (率+まるめ) Σ [1] * 0.03		式			
	1				
合 計					
		日			円／日
	1				
条 件 名 称					

第0027号 単価表
WK250400 工事用水中ポンプ 運転

1 日 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(L001100007) 工事用水中モータポンプ〔普通型〕 潜水ポンプ 口径200mm 全揚程10m		日	【賃料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
		日			円／日
	1				
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 排水量区分	1		0以上120 (m3/h) 未満		
J02 全揚程	1		10m		
J03 排水方法	2		常時排水		

第0028号 単価表
WK250410 発動発電機運転

1 日 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(L001110010) 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 45kVA		日	【賃料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		日			円／日
	1				
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 排水量区分		1	0以上120 (m3/h) 未満		
J02 全揚程		1	10m		
I03 排水方法		2	常時排水		

第0029号 単価表
WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		人日			円／人日
	1				

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TJ1010	建設発生処分料 確認処分	m3	T0707	11,000	仮設材単価等	処分費対象	見積
TJ1020	側溝用埋設型枠 6×390×1000	m2	T0707	6,330	資材単価	全間接費対象	物価7月号p177 積資7月号p223
Y000210000 -00002	生コンクリート(高炉) 24-12-20BB(W/C指定無) 三浦半島割増+小型車割増	m3	T0707	24,300	資材単価	全間接費対象	県単 R7.7月
Y000210000 -00003	生コンクリート(高炉) 18-8-20BB(W/C指定無) 三浦半島割増+小型車割増	m3	T0707	23,700	資材単価	全間接費対象	県単 R7.7月
Y001102000 -00001	アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)	t	T0707	13,900	資材単価	全間接費対象	県単 R7.7月
Z002308010 -00006	道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 300A 300×300×2000	本	T0707	16,800	資材単価	全間接費対象	物価7月号p259 積資7月号p369
Z002324006 -00007	道路用側溝蓋 3種 300 41.2×9.5×50	枚	T0707	2,130	資材単価	全間接費対象	物価7月号p259 積資7月号p369

総 量 集 計 表 (参考) [資材単価]

[illegible]

総 量 集 計 表 (参考) [機械器具損料]

[illegible]

総 量 集 計 表 (参考) [市場単価・標準単価]

[illegible]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [労務費]

[illegible]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [資材単価]

三浦市

總 量 集 計 表 (参考) [機械器具損料]

[illegible]

施 工 パ ッ ケ ー ジ 材 料 集 計 表

単価コード	単価名称	標準単価	材料率(%)	数量	材料分金額	条件情報
CB430510	舗装版切断			46		J01=アスファルト舗装版 / J02=15cm以下 / J05=全ての費用
CB210720	舗装版破碎積込(小規模土工)			131		J01=全ての費用
CB227010	殻運搬			6.5		J01=舗装版破碎 / J02=機械積込(小規模土工) / J03=有り / J10=11.0km以下 / J13=全ての費用
CB210110	土砂等運搬			26		J01=小規模 / J02=バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J16=11.0km以下
CB210110	土砂等運搬			7		J01=小規模 / J02=バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J16=1.5km以下
CB410041	上層路盤(歩道部)			130		J01=200 mm / J02=2層施工 / J03=再生粒度調整碎石 RM-40 / J04=全ての費用
CB410260	表層(車道・路肩部)			131		J01=1.4m以上3.0m以下 / J02=mm / J03=mm / J04=50 mm / J05=各種(2.30以上2.40t/m3未満) / J06=プライムコート PK-3 / J07=全ての費用
CB410010	不陸整正			0.5		J01=有り / J02=28mm以上34mm未満 / J03=再生粒度調整碎石 RM-40 / J04=全ての費用
CB240010	コンクリート			0.036		J01=小型構造物 / J02=人力打設 / J03=各種 / J05=一般養生 / J07=無し / J13=全ての費用
CB240010	コンクリート			4		J01=小型構造物 / J02=人力打設 / J03=各種 / J05=一般養生 / J07=無し / J13=全ての費用
合計						

数量総括表				
工種	規格・寸法	単位	数量	備考
準備工				
1.舗装版切断	AS舗装 t=15cm以下	m	46	別添数量計算書参照(1/5)
2.舗装版破碎積込(小規模土工)	AS舗装版	m2	131	別添数量計算書参照(1/5)
3.構造物とりこわし	無筋構造物	m3	0.5	別添数量計算書参照(1/5)
4.殻運搬	AS殻、2t DID有、L=9.4km	m3	6	別添数量計算書参照(1/5)
5.殻運搬	無筋CO殻、2t DID有、L=9.4km	m3	0.5	別添数量計算書参照(1/5)
6.廃材処理料(東部地区)	AS殻	m3	6	別添数量計算書参照(1/5)
7.廃材処理料(東部地区)	無筋CO殻	m3	0.5	別添数量計算書参照(1/5)
土工				
1.床掘り(路盤材)	0.13BH	m3	26	別添数量計算書参照(2/5)
2.床掘り(土砂)	0.13BH	m3	11	別添数量計算書参照(2/5)
3.埋戻し(発生土)	0.13BH	m3	3	別添数量計算書参照(2/5)
4.土砂等運搬	路盤材、2t DID有、L=9.4km	m3	26	別添数量計算書参照(2/5)
5.土砂等運搬	土砂、2t DID有、L=1.5km	m3	7	別添数量計算書参照(2/5)
6.廃材処理料(東部地区)	路盤材	m3	26	別添数量計算書参照(2/5)
7.建設発生土処分料	確認処分、土質検査無	m3	7	別添数量計算書参照(2/5)
舗装工				
1.上層路盤(歩道部)	RM-40、t=200	m2	130	別添数量計算書参照(3/5)
2.表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=50mm	m2	131	別添数量計算書参照(3/5)
3.不陸整正	RM-40 t=28mm以上34mm未満	m2	0.5	別添数量計算書参照(3/5)
排水工				
1.U型側溝工	撤去・据付け	m	42	別添数量計算書参照(4/5)
2.U型側溝工	据付け	m	2	別添数量計算書参照(4/5)
3.現場打ち側溝蓋工	24-12BB	m	1	別添数量計算書参照(4/5)
4.蓋版	再利用撤去・据付け	枚	68	別添数量計算書参照(4/5)
5.蓋版	据付け	枚	4	別添数量計算書参照(4/5)
6.間詰めコンクリート	18-8BB	m3	4	別添数量計算書参照(4/5)
7.暗渠排水管	撤去	m	1	別添数量計算書参照(4/5)

数量総括表				
工種	規格・寸法	単位	数量	備考
仮設工				
1.ポンプ設置・撤去		箇所	1	別添数量計算書参照(5/5)
2.ポンプ運転	常時排水	日	4	別添数量計算書参照(5/5)
3.交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	29	別添数量計算書参照(5/5)

数量計算書(1/5)

種 別	略 図 計 算 式	数 量
準備工		
1.舗装版切断	起点部横断 起点部縦断～終点部縦断	
AS舗装	2.65 + 44.21 =	46.86 m
t=15cm以下	合 計 =	46.9 m
2.舗装版破碎積込(小規模土工)	アスファルト舗装工面積計算書 表層工より	
AS舗装版	131.40 =	131.40 m2
	合 計 =	131.4 m2
3.構造物とりこわし	既設間詰めコンクリート撤去数量計算書より	
無筋構造物	0.48 =	0.48 m3
	合 計 =	0.5 m3
4.殻運搬	2.舗装版破碎積込(小規模土工)	
AS殻、2t	厚さ	
DID有、L=9.4km	131.40 × 0.05 =	6.57 m3
	合 計 =	6.6 m3
5.殻運搬	3.構造物とりこわしより	
無筋CO殻、2t	0.48 =	0.48 m3
DID有、L=9.4km	合 計 =	0.5 m3
6.廃材処理料(東部地区)	4.殻運搬より	
AS殻	6.57 =	6.57 m3
	合 計 =	6.6 m3
7.廃材処理料(東部地区)	5.殻運搬より	
無筋CO殻	0.48 =	0.48 m3
	合 計 =	0.5 m3

数量計算書 (2/5)

種 別	略 図 計 算 式					数 量
土工						
1.床掘り(路盤材)	土工数量計算書、床掘り(路盤材)より					
0.13BH	26.15				=	26.15 m3
				合 計	=	26.2 m3
2.床掘り(土砂)	土工数量計算書、床掘り(土砂)より					
0.13BH	11.22				=	11.22 m3
				合 計	=	11.2 m3
3.埋戻し(発生土)	土工数量計算書、埋戻し(発生土)より					
0.13BH	3.35				=	3.35 m3
				合 計	=	3.4 m3
4.土砂等運搬	1.床掘り(路盤材)より					
路盤材、2t	26.15				=	26.15 m3
DID有、L=9.4km				合 計	=	26.2 m3
5.土砂等運搬	2.床掘り(土砂)より		3.埋戻し(発生土)より			
土砂、2t	11.22	-	3.35	÷	0.9	= 7.50 m3
DID有、L=1.5km				合 計	=	7.5 m3
6.廃材処理料(東部地区)	4.土砂等運搬より					
路盤材	26.15				=	26.15 m3
				合 計	=	26.2 m3
7.建設発生土処分料	5.土砂等運搬より					
確認処分、土質検査無	7.50				=	7.50 m3
				合 計	=	7.5 m3

数量計算書(3/5)

種 別	略 図 計 算 式	数 量
舗装工		
1.上層路盤(歩道部) RM-40、t=200	アスファルト舗装工面積計算書 路盤工より 130.87 合 計 =	= 130.87 m2 = 130.9 m2
2.表層(車道・路肩部) 再生密粒度As(13) t=50mm	アスファルト舗装工面積計算書 表層工より 131.40 合 計 =	= 131.40 m2 = 131.4 m2
3.不陸整正 RM-40 t=28mm以上34mm未満	2.表層より 1.上層路盤より 131.40 - 130.87 合 計 =	= 0.53 m2 = 0.5 m2

数量計算書(4/5)

種 別	略 図 計 算 式					数 量	
排水工							
	側溝延長						
	1.U型側溝工 撤去・据付け	44.21	-	2.00	=	42.21	m
					合 計	=	42.2 m
	2.U型側溝工 据付け	2.00				2.00	m
					合計	=	2.0 m
	3.現場打ち側溝蓋工 24-12BB	延長 1.41			=	1.41	m
					合 計	=	1.4 m
	4.蓋版 再利用撤去・据付け	(側溝 延長 42.21	-	1.41	) ÷ 0.6	=	68.00 枚
					合 計	=	68.0 枚
	5.蓋版 据付け	2.00	÷	0.5		=	4.00 枚
						=	4.00 枚
6.間詰めコンクリート 18-8BB	間詰めコンクリート数量計算書より						
	4.93				=	4.93 m3	
				合 計	=	4.9 m3	
7.暗渠排水管 撤去	1	×		1.75	合計	=	1.75 m
					=	1.8 m	

数量計算書(5/5)

種 別	略 図 計 算 式				数 量	
仮設工						
	1.ポンプ設置・撤去	箇所				
		1		=	1.00	箇所
				合 計 =	1.0	箇所
	2.ポンプ運転	ポンプ運転算定表より	不稼働係数			
	常時排水	2	×	1.785	=	3.57 日
				合 計 =	4.0	日
	3.交通誘導警備員	交通誘導警備員算定表より				
	交通誘導警備員B	29		=	29.00	人日
				合 計 =	29.0	人日

土量数量計算書

床掘り(路盤材)

測点	測点間距離	断面積	平均断面積	体積	備考
	m	m2	m2	m3	
No.0		0.53			
No.0+10	10.00	0.54	0.535	5.35	
No.1	10.00	0.54	0.540	5.40	
No.1+10.00	10.00	0.63	0.585	5.85	
No.1+11.25	1.25	0.63	0.630	0.79	No.1+10.00と同断面
三斜求積アスファルト舗装工面積計算書より					
43.79	×	0.2	=	8.76	
合計				26.15	

土量数量計算書

床掘り(土砂)

測点	測点間距離	断面積	平均断面積	体積	備考
	m	m2	m2	m3	
No.0		0.27			
No.0+10	10.00	0.27	0.270	2.70	
No.1	10.00	0.26	0.265	2.65	
No.1+10.00	10.00	0.27	0.265	2.65	
No.1+11.25	1.25	0.27	0.270	0.34	No.1+10.00と同断面
No.2+1.90	10.65	0.27	0.270	2.88	No.1+10.00と同断面
合計				11.22	

土量数量計算書

埋戻し(発生土)

測点	測点間距離	断面積	平均断面積	体積	備考
	m	m2	m2	m3	
No.0		0.08			
No.0+10.00	10.00	0.08	0.080	0.80	
No.1	10.00	0.08	0.080	0.80	
No.1+10.00	10.00	0.08	0.080	0.80	
No.1+11.25	1.25	0.08	0.080	0.10	No.1+10.00と同断面
No.2+1.90	10.65	0.08	0.080	0.85	No.1+10.00と同断面
合計				3.35	

アスファルト舗装工面積計算書

路盤工

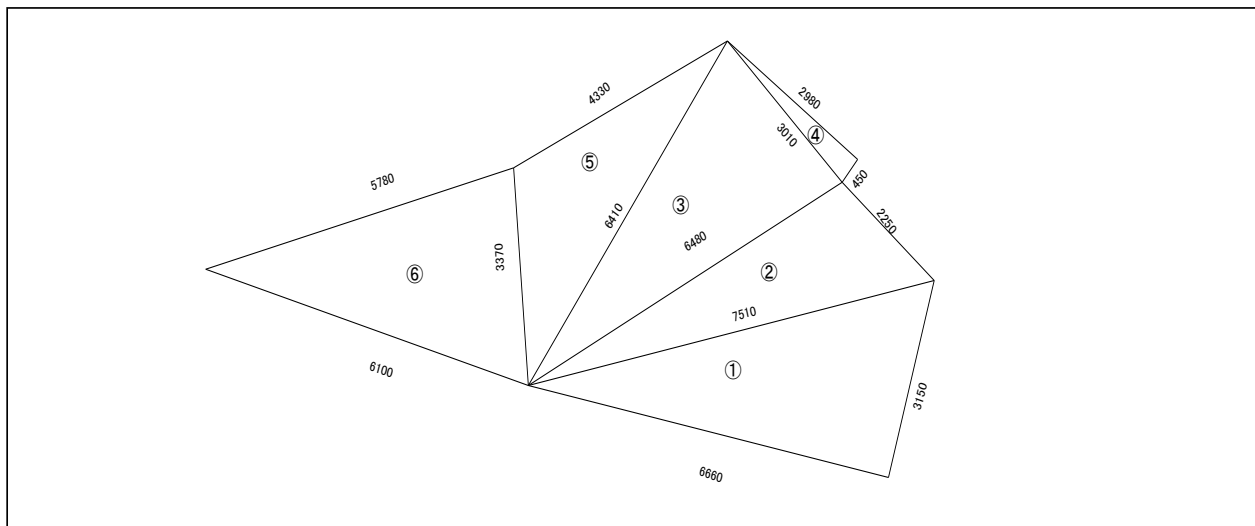
測点	測点間距離	幅員	平均幅員	面積	備考
	m	m	m	m ²	
No.0		2.65			
No.0+10	10.00	2.70	2.675	26.75	
No.1	10.00	2.72	2.710	27.10	
No.1+10.00	10.00	3.14	2.930	29.30	
No.1+11.25	1.25	3.15	3.145	3.93	
三斜求積アスファルト舗装工面積計算書より					
43.79					
合計				130.87	

アスファルト舗装工面積計算書

表層工

測点	測点間距離	幅員	平均幅員	面積	備考
	m	m	m	m ²	
No.0-0.20		2.65			
No.0	0.20	2.65	2.650	0.53	
No.0+10.00	10.00	2.70	2.675	26.75	
No.1	10.00	2.72	2.710	27.10	
No.1+10.00	10.00	3.14	2.930	29.30	
No.1+11.25	1.25	3.15	3.145	3.93	
三斜求積アスファルト舗装工面積計算書より					
				43.79	
合計				131.40	

三斜求積アスファルト舗装工面積計算書



測 点	a	b	c	s	S
①	3.15	6.66	7.51	8.660	10.476
②	6.48	2.25	7.51	8.120	6.905
③	6.48	3.01	6.41	7.950	9.429
④	2.98	3.01	0.45	3.220	0.670
⑤	3.37	4.33	6.41	7.055	6.760
⑥	3.37	5.78	6.10	7.625	9.554
				合計	43.79

既設間詰コンクリート計算書

測点	測点間距離	幅	厚さ	断面積	平均断面積	体積	備考
	m	m2			m2	m3	
No.0		0.150	0.100	0.015			
No.0+10	10.00	0.140	0.100	0.014	0.0145	0.145	
No.1	10.00	0.080	0.100	0.008	0.0110	0.110	
No.1+10.00	10.00	0.110	0.100	0.011	0.0095	0.095	
No.1+11.25	1.25	0.110	0.100	0.011	0.0110	0.014	No.1+10.00と同断面
No.2+1.90	10.65	0.110	0.100	0.011	0.0110	0.117	No.1+10.00と同断面
合計						0.481	

間詰コンクリート計算書

測点	測点間距離	断面積	平均断面積	体積	備考
	m	m2	m2	m3	
No.0		0.12			
No.0+10	10.00	0.12	0.120	1.20	
No.1	10.00	0.11	0.115	1.15	
No.1+10.00	10.00	0.12	0.115	1.15	
No.1+11.25	1.25	0.12	0.120	0.15	No.1+10.00と同断面
No.2+1.90	10.65	0.12	0.120	1.28	No.1+10.00と同断面
合計				4.93	

ポンプ運転算定表						
工種・種別・名称	規格・寸法	単位	数量	施工量 日当り	施工日数	
					整数止	
排水工						
1. U型側溝工	撤去・据付け	m	42			2
2. U型側溝工	据付け	m	2			
3. 暗渠排水管	撤去	m	1			
ポンプ運転日数	合計日数					2

交通誘導警備員算定表

工種・種別・名称	規格・寸法	単位	数量	施工量 日当り	施工日数		配置 人員	人員
						整数止		
舗装版切断	AS舗装 t=15cm以下	m	46					
舗装版破碎積込(小規模土工)	AS舗装版	m2	13					
構造物とりこわし	無筋構造物	m3	0.5				2	
床掘り(路盤材)	0.13BH	m3	26					
床掘り(発生土)	0.13BH	m3	11					
埋戻し(発生土)	0.13BH	m3	3				2	
U型側溝工	撤去・据付け	m	42					
U型側溝工	据付け	m	2					
暗渠排水管	撤去	m	1					
現場打ち側溝蓋工	24-12BB	m3	0.04					
蓋版	再利用撤去・据付け	枚	68					
蓋版	据付け	枚	4					
間詰めコンクリート	18-8BB	m3	4				2	
ポンプ設置・撤去		箇所	1				1	
舗装版破碎積込(小規模土工)	AS舗装版	m2	118					
上層路盤(歩道部)	RM-40、t=200	m2	130					
不陸整正	RM-40 t=28mm以上34mm未満	m2	0.5					
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=50mm	m2	131				2	
交通誘導警備員	合計人員							29

【本工事における特記仕様書の一覧表】

	特記仕様書の名称	備考
1	特記仕様書	
2	建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書	
3	建設副産物実態調査に係る特記仕様書	
4	公共建設発生土処分に係る確認処分特記仕様書	
5	週休2日制確保工事に関する特記仕様書	

特 記 仕 様 書

本仕様書は、令和7年度 市道681号道路修繕工事に適用するものとする。

1. 請負者は、速やかに施工計画書を作成し、監督員に提出すること。
2. 本工事において、この特記仕様書によらないものについては「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」を遵守すること。
なお、土木工事共通仕様書は令和6年11月、土木工事施工管理基準は令和4年4月に改正となつたため注意すること。
3. 本工事において、請負者は設計計画図を基にした丁張を掛け監督員の確認を受けるものとする。
なお、工事中に変更を指示された場合、その都度、実施計画図を作成し監督員の承諾を得るものとする。
4. 請負者が実施する測量、設計等に要する費用は準備費、技術管理費及び現場管理費に含まれているので別途計上はしない。
5. 請負者は、周辺住民に与える建設公害等を極力軽減するように配慮した上で資機材、建設発生土等の運搬経路、資材の仮置場、工事区域を区分する保安施設等の設置箇所、工事期間、施工方法等について十分に検討を行い、周辺住民に周知を図るものとする。
6. 請負者は、本工事施工にあたり公道、公共用地及び民有地等を利用して工事を行う場合は各所有者及び管理者の承諾を得なければならない。
また、上記の用地を利用した場合、原則として工事完了後に請負者の責任を持って現況に復旧すること。
7. 建設廃材処理については、所定の様式に必要事項を漏れなく記載し提出すること。

建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設工事から発生する廃棄物についての取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に関する事項を定めるものである。

I. 総則

1 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化
分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材
「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物適正処理・再資源化に関する事項

工事の施工等にあたっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

1 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、再資源化等の中心的役割を担うものとして、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 廃棄物処理計画等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

《下請契約》

- (3) 工事の一部を下請発注し、生じた建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託の契約をすること。
- (4) 建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。

《再生品の利用》

- (5) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材については、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。
ア 道路等の舗装の路盤材は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく神奈川県県土整備局の指定するコンクリート塊等処理指定工場から再生砕石等を調達すること。
イ 道路舗装材には、「工事における環境配慮型公共工事の推進に関する特記仕様書」を参考に、再生加熱アスファルト混合物等の利用に努めること。
ウ その他、コンクリート型枠材としてのパーティクルボード(ストランドボード)等エンジニアードウッドの利用、法面の緑化材、雑草防止材等としての再生木質マルチング材等の利用を積極的に提案すること。

2 施工に関する事項

建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等関係法令の遵守を徹底するとともに、アスベスト、CCA処理木材、フロン類、非飛散性アスベスト、PCB等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

《発生抑制》

(1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考にして、積極的な提案を行うこと。

ア 使用済コンクリート型枠の再使用

イ コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破砕による路盤材等への再生利用

ウ 建設汚泥の現場内での脱水、固化等による盛土材等への再生利用

《再資源化等》

(2) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再資源化施設等の搬入するとともに、再生資源の活用に努めること。

(3) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として神奈川県県土整備局が指定するコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。

(4) 建設発生木材等は、原則として神奈川県県土整備局が指定する事業者の指定施設へ搬入すること。

(5) その他の建設廃棄物(特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物)についても、可能な限り再資源化等に努めること。

《適正処理》

(6) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。

(7) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。

ア 運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。

イ 適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。

ウ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、最終処分(再生を含む。)が完了したことを確認すること。

3 施工の完了後に行う事項

コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊については、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、当該工事で発生したコンクリート塊等の指定工場への搬入を完了した時は、速やかにコンクリート塊等搬入完了報告書に指定工場の証明を受けて監督員に報告すること。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設副産物実態調査に関する事項を定めるものである。

I. 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化
分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材
「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

1. 元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事(小規模工事等又は調査対象となる建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出が無い工事は除く)は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用{促進}計画書(実施書)の作成」を兼ねるものとする。
本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対 象	調査対象品目	備考
搬 入 す る 建 設 資 材	コンクリート	生コンクリート、コンクリート二次製品(有筋、無筋)など
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	山砂、建設発生土、土質改良土、建設汚泥処理土、再生コンクリート砂(RC-10)など
	砕石	鉱さい、クラッシャーラン、ぐり石など
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬 出 す る 建 設 副 産 物	コンクリート塊	
	建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事(工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。)に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物(建設混合廃棄物)	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト(飛散性)	
	その他の分別された廃棄物	
	第一種～第四種建設発生土及び浚渫土(建設汚泥を除く)	

2. 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。
 - (1) 一般財団法人日本建設情報統合センターのホームページ【<https://fkplus.jacic.or.jp/>】から建設副産物情報交換システム(コブリス・プラス)にログインする。
システムの操作方法については、「トップページ」内の「コブリス・プラスでできること(動画)」、「コブリス・プラスの使い方」ページ内の「民間企業の方へ」「■工事の受注者の方へ」(1)及び、「■受注者向け(動画)」を参照する。
 - (2) 当初契約時点でのデータを入力する。データ入力の際、データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコブリス・プラス上で監督員へ提出する。(監督員からコブリス・プラスで修正指示がある場合(提出状況欄が「問い合わせあり」の場合)は修正登録をする。)
 - (3) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式(計画)を印刷し、監督員に提出する。
 - (4) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコブリス・プラス上で監督員へ提出する。(監督員からコブリス・プラスで修正指示がある場合(提出状況欄が「問い合わせあり」の場合)は修正登録をする。)
 - (5) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式(実施)を印刷し、監督員に提出する。
 - (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「データ登録済み確認書」を印刷し、修正を要するエラーが出ていないことを確認の上、監督員に提出する。

3. データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山m³」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締めm³」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100m³ (地山m³)

埋戻し 20m³ (締めm³) 「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22m³ (地山m³) 「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20m³／変化率C(仮に0.9とする)＝22m³

処分 78m³ (地山m³) 「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

100m³－22m³＝78m³

(2)チェック結果について

チェック結果及び「データ登録済み確認書」のチェック結果で確認が必要な事項に下記の項目がある場合は修正する。

11.レンジオーバー

(発生箇所:工事概要)

請負金額の単位が「万円」であることを再確認し、桁間違いをしていないか確認のうえ、修正登録。

20.現場内不整合

(発生箇所:様式1土砂、様式2建設発生土)

「様式1の土砂(現場内利用量)」＝「様式2の建設発生土(現場内利用量)」となるように修正登録。

(発生箇所:様式1碎石、様式2コンクリート、アスファルト・コンクリート)

「様式1の碎石(現場内利用量)」＝「様式2のコンクリート、アスファルト・コンクリート(現場内利用量)」となるように単位換算をした数値で修正登録。

24.リサイクル率対象外

(発生箇所:様式2コンクリート、様式2アスファルト・コンクリート)

原則として、搬出先は県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場(再資源化工場)となるため修正登録。

(発生箇所:様式2建設発生木材A、B)

原則として、搬出先は県土整備局の指定事業者の指定施設(再資源化施設)となるため修正登録。

(発生箇所:様式2建設発生土(第一種～第四種、浚渫土))

「公共建設発生土処分に係る確認仕様書」に記載のとおり、搬出先は土砂受入れから最終処分までの過程を確認できる処分地となるため修正登録。

公共建設発生土処分に係る確認処分特記仕様書

1. 請負者は、再生資源の利用促進に関する法律に基づき、当該現場から発生する建設発生土の利用促進に努めなければならない。
2. 請負者は、関係法令を遵守し、安全性などを勘案のうえ、自らの責任において処分先を選定し、適切な施工を確認しなければならない。
3. 請負者は、自ら選定した処分地に建設発生土を搬入する場合は事前に別紙「様式1」により承認書を提出しなければならない。
4. 処分地が土砂条例を設けている市町村にあっては、条例に定められた所定の手続きを行ってから発生土の搬入を開始すること。
5. 請負者は、別添「建設副産物にかかる特記仕様書」に基づき再生資源利用促進計画書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。又、入力上の注意として施工条件の区分は「自由処分」、受入地の区分は「内陸処分（最終処分地）」とすること。
6. 請負者は処分地を選定する際、別添『最終処分地残土受入承諾書』及び処分地における事業認可の写し等、土砂受入れから最終処分までの過程を確認できる書類を添付し、また搬入土量の証明として伝票もしくは整理券等が発行できる処分地とすること。
7. 処分費については、以下の会社から1m³当りの金額について見積りを徴収した。
(積算に採用している、処分費 1 m³当りの金額については下記参照)
又、以下の4社から見積り徴収時に確認届及び最終処分地残土受入承諾書を受理している為、提出の必要はありません。

1. (有)大早輝建材	横須賀市荻野15-3	046 (856) 6224
2. 田中石材土木(株)	横須賀市長坂3-10-13	046 (856) 1931
3. (有)川島	三浦市三崎町六合427	046 (881) 7776
4. (株)伊ノ崎	横須賀市長沢2-8-14	046 (848) 4921

・処分費

土質試験なし

1. 0 m³ 当たり (税別) 11000円

L=1.5 k m

最終処分地残土受入承諾書

令和 年 月 日

三浦市長 ○○ ○○ 殿

搬入者 ○○○○○市○○○○町○○番○○号
○○会社 ○○○○○
代表取締役 ○○○○○

受取人 ○○○○○市○○○○町○○番○○号
○○会社 ○○○○○
代表取締役 ○○○○○

1. 業務名（工事名） 令和○年度 ○○○○○○○○○工事
2. 搬出場所 三浦市○○○○町地内
3. 搬入期間 令和○○年○○月○○日 ～ 令和○○年○○月○○日まで

上記の工事（業務）について発生した残土を、受入れることを承諾いたします。

週休２日制確保工事に関する特記仕様書（土木工事）

1 週休２日制確保工事について

- ・ 本工事は、「三浦市週休２日制確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。
- ・ 試行要領や提出書類等は、下記のホームページから入手すること。

<入手先>

三浦市ホームページ（週休２日制工事）

https://www.city.miura.kanagawa.jp/shigoto_sangyo_machizukuri/nyusatsu_keiyaku/11074.html

2 週休２日制確保工実施の内容

- ・ 受発注者は、工事着手前の施工計画書作成段階において、工期全体に影響を与える事項について情報共有することとする。
- ・ 受注者は、毎週、先週の実績と今週の計画工程を示した週間工程表を監督員に提出する。
- ・ 受注者は、当月分の「現場閉所実績報告書」（別紙１）を、翌月の５日までに監督員に提出する。
- ・ 受注者は、原則として、工事完成届提出日の20日前までに、最終月の「現場閉所実績報告書」（別紙１）及び対象期間全体の「現場閉所履行報告書」（別紙２）を作成し、監督員へ提出する。
- ・ 受注者は、公衆の見やすい場所に、週休２日制確保工事である旨を明示する。記載内容は次の例を基本とし、大きさはA３サイズ以上とする。

記載内容の例

週休２日制に取り組む工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休２日の確保に取り組む工事です。

発注者： 三 浦 市

施 工 条 件 明 示 書

工 事 名 : 令和7年度 市道681号道路修繕工事

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容			関連特記仕様書等
工程関係	☐	1. 他工事の開始又は完了の時期による影響	影響が生じる他の工事 令和 年度 影響箇所 影響する内容 他の工事の開始時期 令和 年 月 日 他の工事の開始時期 令和 年 月 日			
	☐	2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限	制限を受ける施工内容 制限を受ける施工時期 制限を受ける施工時間 開始 時 分 から 時 分 まで 制限を受ける施工方法			
	☒	3. 関係機関等との協議の未成立	未成立協議内容 道路使用許可申請書、道路工事届出書 協議成立見込み時期			
	☐	4. 関係機関等との協議した結果、工程に影響を及ぼす項目と範囲	影響項目 影響範囲			
	☐	5. 余裕工期を設定した場合の工事の着手時期	全体工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 着手時期 令和 年 月 日 留意事項			
	☐	6. 地下埋設物・埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間	地下埋設物・埋蔵文化財の種類 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	事前調査・移設の期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
	☐	7. 設計上見込んでいない休日日数等以外の作業不能日数	休日日数等以外の作業不能日数 内 容 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
用地関係	☐	1. 工事用地等の未処理部分	場 所 令和 年 月 日頃 令和 年 月 日頃 令和 年 月 日頃	範 囲 令和 年 月 日頃 令和 年 月 日頃 令和 年 月 日頃	処理の見込み時期 令和 年 月 日頃 令和 年 月 日頃 令和 年 月 日頃	
	☐	2. 工事用地等の使用終了後における復旧内容	復旧場所 面積等数量 復旧方法 復旧における条件			
	☐	3. 工事用仮設道路・資器材置場用の民有地等の借地	使用目的 使用場所 使用範囲 使用時期 使用期間			
	☐	4. 発注者が借り上げた土地の使用	使用目的 使用場所 使用範囲 使用時期 令和 年 月 日頃 使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			

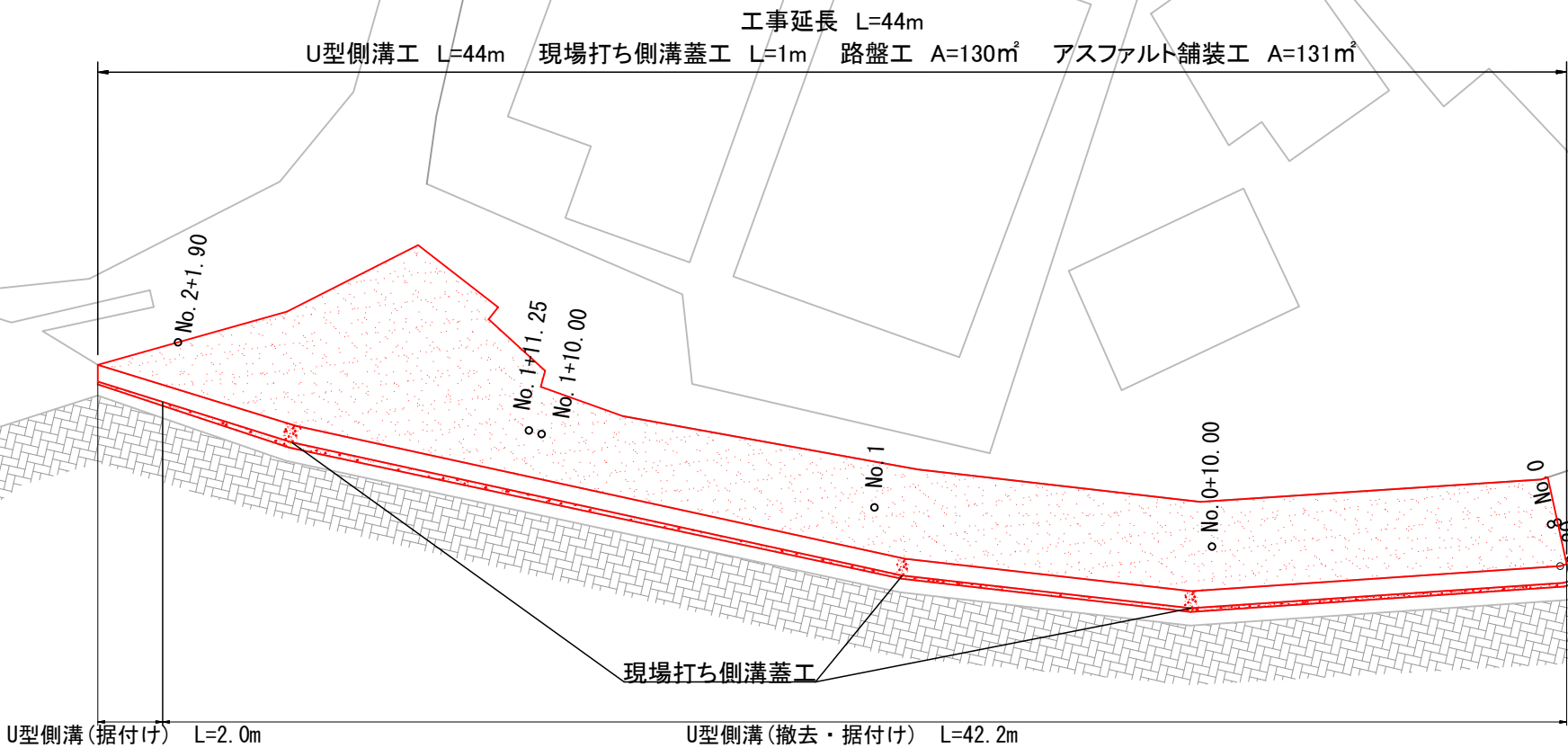
明示項目	対象の有無	明示事項	内 容					関連特記仕様書等		
公害関係	☒	1. 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）対策	対象となる工種 工事全般 施工方法の制限 機械施設の制限 排出ガス対策型、低騒音 作業時間の制限 開始 時 分 から 時 分 まで							
	☒	2. 水替え・流入防止施設	対象となる工種 排水工 使用期間 4 日間							
	☐	3. 濁水、湧水等の処理対策	対象工種	処理方法		備 考				
公害関係	☐	4. 事業損失防止関係	調査対象	事前・事後	調査範囲 対象件数	調査方法				
安全対策関係	☒	1. 交通安全施設等の指定	交通安全施設	工 種	設置期間		内 容			
			警察協議による指示	工事全般						
	☐	2. 近接工事での施工方法、作業時間等の制限	近接する施設 施工方法の制限 作業期間の制限 作業時間の制限							
	☐	3. 落石、土砂崩落等に対する防護施設	防護施設の内容							
	☒	4. 交通誘導員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	保安要員種別	規制等方法	交代要員	配置時間帯	人員数・規格			
			交通誘導警備員B		含まない	9:00～17:00	交通誘導警備員算定表参照			
	☐	5. 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	危険要因	工 種	危険防止対策の工法内容、設備の規格・規模					
工事用道路関係	☐	1. 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	搬入経路 使用期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 使用時間帯 開始 時 分 から 時 分 まで							
	☐	2. 搬入路の使用後及び使用後の処置	区間 期間 処置内容							
	☐	3. 仮設道路の設置	区間 安全施設の内容 安全施設の期間 工事終了後の処置 存置 ・ 撤去 維持補修内容							

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容	関連特記仕様書等																								
仮設備関係	☐	1. 仮設物（仮主留、足場等）の他の工事への転用もしくは兼用	【他工事へ引き渡す場合】 仮設物の内容 引き渡し時期 令和 年 月 日頃 維持管理等条件 【引き継いで使用する場合】 仮設物の内容 引き継ぎ時期 令和 年 月 日頃 確認事項 条件等																									
	☐	2. 仮設備の構造及び施工方法の指定	仮設備の構造 仮設備の施工方法																									
	☐	3. 仮設備の設計条件の指定	指定内容																									
建設副産物関係	☒	1. 残土の受入れ及び仮置き場所までの距離、保管条件	指定処分の有無 有 ・ ☒ 無 指定処分の場合の受入地 仮置きの有無・距離 有 ・ ☒ 無 km 仮置き場の選定条件	公共建設発生土処分に係る確認処分特記仕様書																								
	☒	2. 建設副産物及び建設廃棄物の処理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>受入場所</th><th>運搬距離</th><th>受入条件</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AS殻</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>無筋Co殻</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>建設発生土</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考	AS殻					無筋Co殻					建設発生土									
名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考																								
AS殻																												
無筋Co殻																												
建設発生土																												
工事支障物件等	☐	1. 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支障物件</th><th>占用者</th><th>移設・撤去・防護の時期</th><th>移設・撤去・防護の期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																					
	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																								
☐	2. 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	占用物件工事の有無 有 ・ ☒ 無 占用者 工事期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日																										
薬液注入関係	☐	1. 薬液注入工法の施工	工法区分 材料種類 施工範囲 孔数量 注入量																									
	☐	2. 周辺環境への調査																										
その他	☐	1. 工事用資機材の保管及び仮置き	工事用資機材名称 保管・仮置き場所 保管・仮置き期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日																									

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容					関連特記仕様書等
	☐	2. 工事現場発生品	現場発生品	再利用の有無	数量	引渡し場所	運搬距離	
	☐	3. 支給材料及び貸与品	支給・貸与品名称 数量・品質 規格又は性能 引渡し期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					
	☐	4. 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等						
	☐	5. 架設工法の指定	施工方法 施工条件					
	☐	6. 工事用電力等の指定						
	☐	7. 新技術・新工法・特許工法の指定	工法名称 内容					
	☐	8. 部分使用	使用箇所 使用時期 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日					
	☐	9. 給水の必要	取水箇所 方法等					
	☐	10. 地元調整						
	☒	11. 検査日程	検査日程については工期1週間前を原則とする。					
☐								
☐								

※上記以外に条件明示が必要な場合は、追加して条件を明示すること。

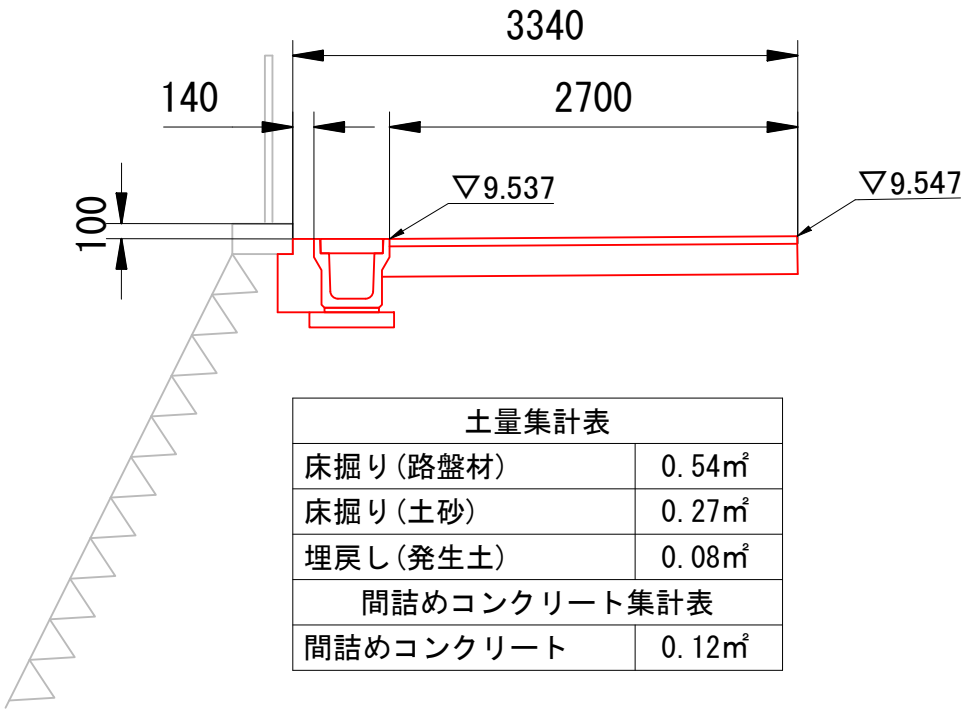
平面図



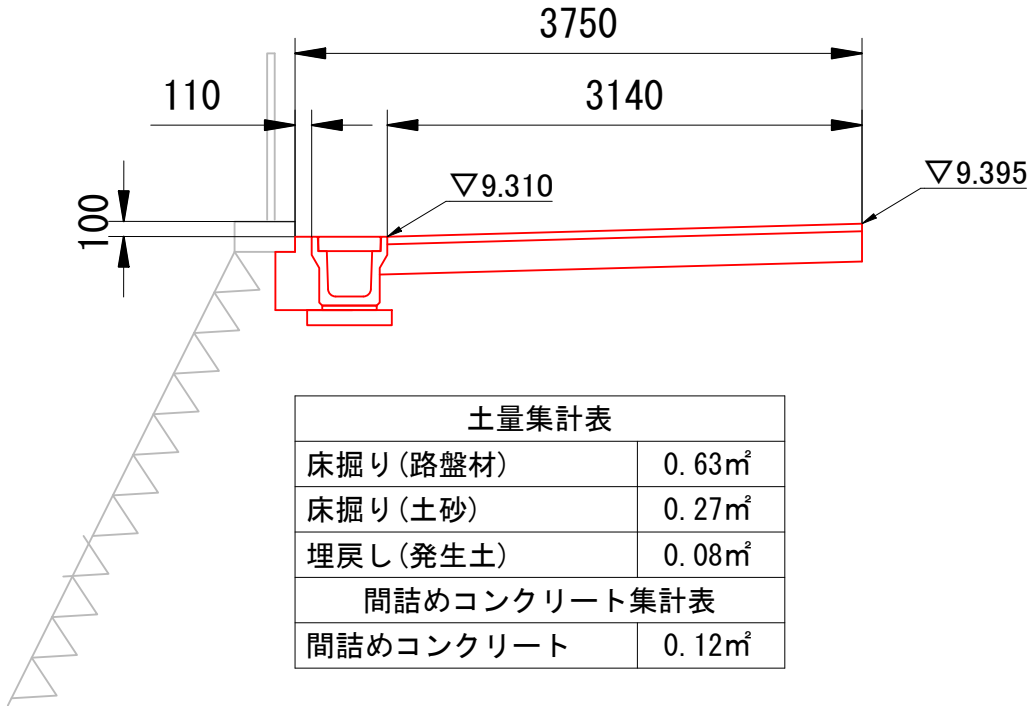
工事名	令和7年度 市道681号道路修繕工事		
工事箇所	三浦市三崎町小網代地内		
図面名	平面図		
縮尺	S=1:200	図面番号	1 / 3
三 浦 市 都 市 環 境 部 土 木 課			

横断図

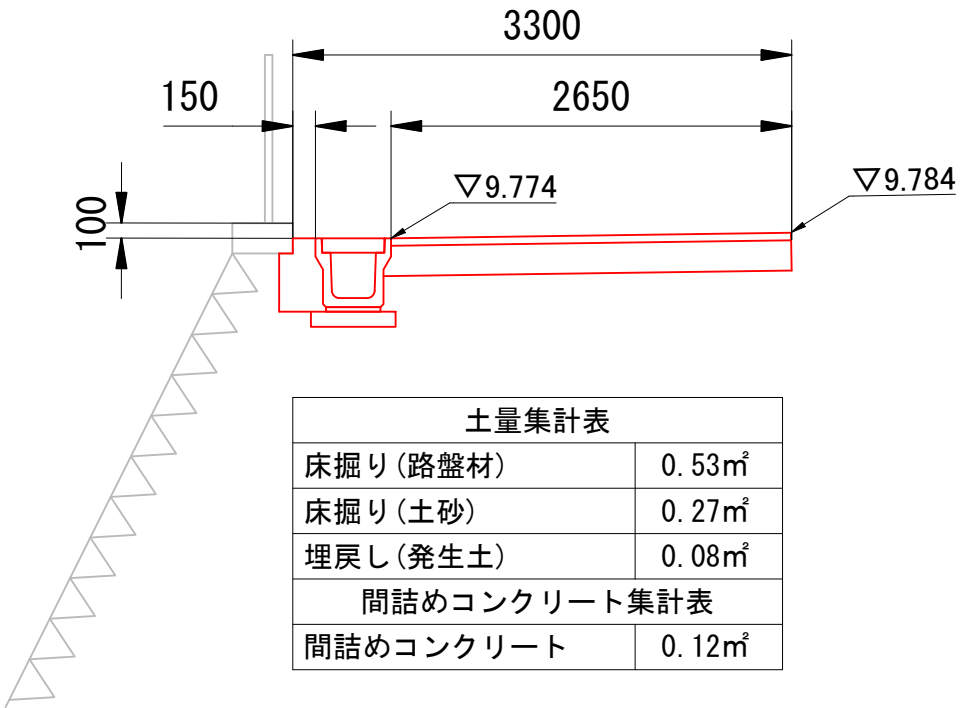
No. 0+10.00



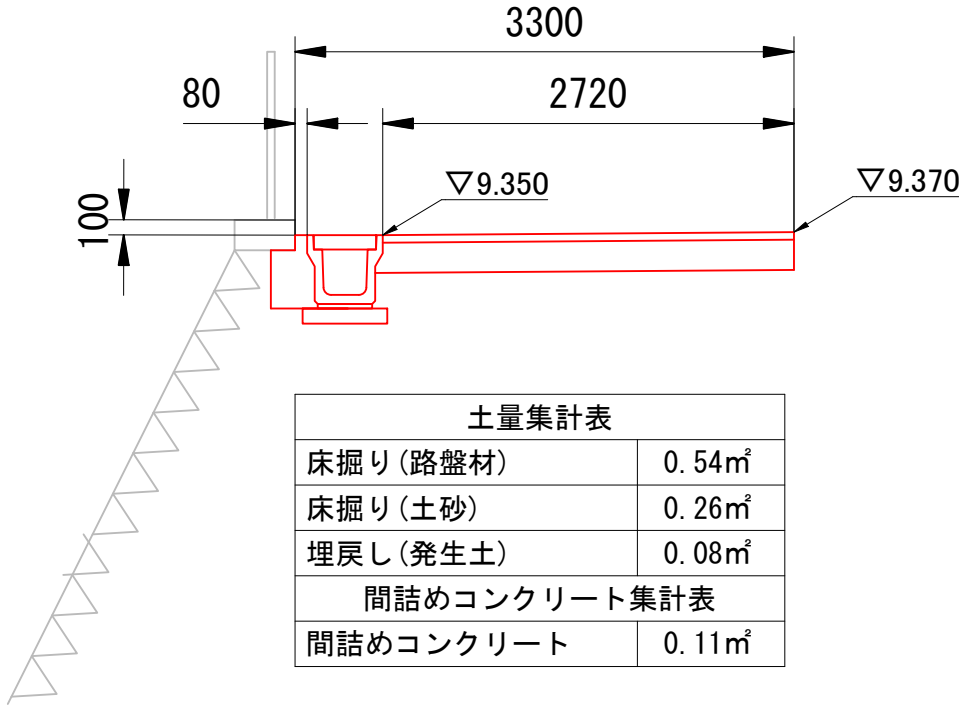
No. 1+10.00



No. 0

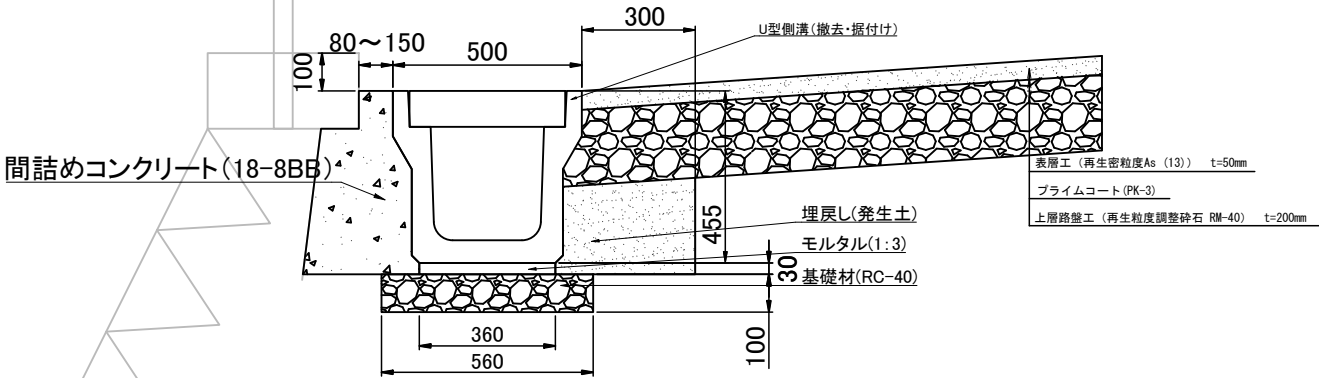


No. 1



工事名	令和7年度 市道681号道路修繕工事		
工事箇所	三浦市三崎町小網代地内		
図面名	横断図		
縮尺	S=1:50	図面番号	2 / 3
三 浦 市 都 市 環 境 部 土 木 課			

構造図・舗装構成図

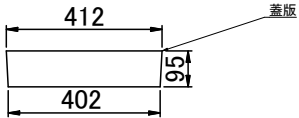


材料表 (10m当り)

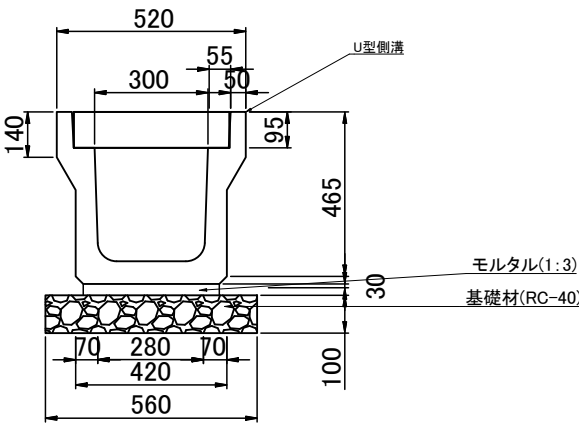
名 称	形状寸法	単位	数量
U型側溝 (撤去・据付け)	U300	本	—
モルタル	1:3	m ³	0.11
基礎材	RC-40	m ³	0.56
間詰めコンクリート	18-8BB	m ³	※

※間詰めコンクリート集計表にて計上

蓋版



U型側溝

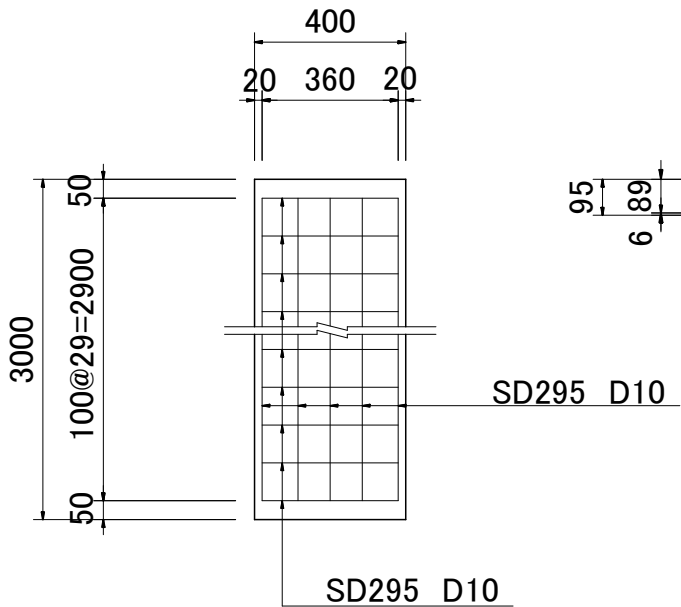


材料表 (10m当り)

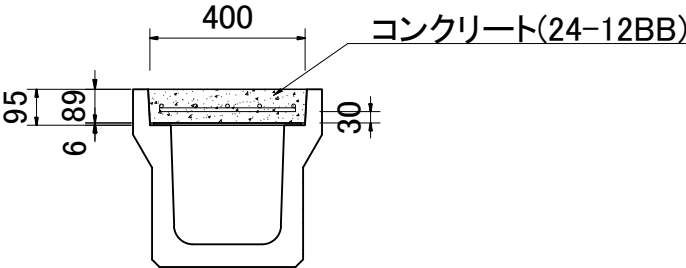
名 称	形状寸法	単位	数量
U型側溝	300A 3種	本	5
蓋版	L=500	枚	20
モルタル	1:3	m ³	0.11
基礎材	RC-40	m ³	0.56

現場打ち側溝蓋工

平面図



断面図



材料表 (3m当り)

工 種	名 称	形状寸法	単位	数量
現場打ち側溝蓋工	コンクリート	24-12BB W/C指定なし	m ³	0.11
	鉄筋	SD295 D10	t	0.014
	埋設型枠	6×390×1000	m ²	1.17

工事名	令和7年度 市道681号道路修繕工事		
工事箇所	三浦市三崎町小網代地内		
図面名	構造図・舗装構成図		
縮尺	S=1:20	図面番号	3 / 3
三 浦 市 都 市 環 境 部 土 木 課			